

■米国：下院議会、包括エネルギー・気候変動法案を可決

米下院議会は2009年6月26日、キャップ&トレードを柱とする気候変動法案や再生可能エネルギー利用基準（RPS）などを盛り込んだ「2009年米国クリーンエネルギー・安全保障法案（H.R.2454）」を賛成多数（賛成219、反対212、棄権3）で可決した。連邦大の気候変動法案が上院または下院の本会議を通過したのは初めてである。同法案は、下院のワックスマン議員（民主党、カリフォルニア州）とマーキー議員（民主党、マサチューセッツ州）によって作成され、5月21日に下院の担当委員会であるエネルギー商業委員会を通過していた。温室効果ガス削減目標は2020年17%、2050年83%（ともに2005年比）、またRPS目標は2020年20%となっている。キャップ&トレードでは、総排出枠の最大85%が無償配分される。同法案は、今後、上院議会に回付される予定である。